

生光学園中学校

[特進・総合・IECコース]

令和2年度 3月行事予定

光は外に求めるものでなく
 自己の中にあり
 自らの心の中に光を見出したとき
 他から光が与えられる



3

March

2021

日	月	火	水	木	金	土
	1 学年末テスト Y9卒業テスト	2 学年末テスト Y9卒業テスト	3 学年末テスト	4	5	6 IECのみ登校日
7	8 入試前日指導 (Y9 AMのみ)	9 高校入試①	10 高校入試② 卒業式練習	11 卒業式予行・前 日表彰・予餞会	12 第46回中学校 卒業式	13 IECのみ登校日
14	15	16	17 (公立高校合否)	18	19	20 祝 春分の日
21	22	23	24 修了式 TOEFL GTEC	25	26	27
28	29	30	31			

- ★ 3/11(木) : 卒業式予行・前日表彰式・予餞会 を予定
- ★ 3/12(金) : 第46回 卒業証書授与式 (11日・12日在校生の参列は希望制)
- ★ 3/25(木)~4/7(水) : 春休み ★ 4月8日(木) : 始業式

お釈迦さまの教えに「知恩」「感恩」「報恩」という言葉があります。恩を知り、多くの人に支えられ、助けられていることに気づき、そしてその恩に報いる、つまり“恩返し”が大切であると説いています。そして、この「知恩」と「報恩」をつなぐものが「感謝」という事になります。

実は、「日本」と親日国としても知られる「トルコ」という国の間には、時代を超えた壮大な「知恩・報恩」のエピソードがあります。“海難1890” (2015年制作) という映画にもなりましたが、明治23年和歌山県沖に沈没したエルトゥールル号から大島島民の奮闘により69名のトルコ使節団が救い出されました。

それから95年後の1895年(昭和60年)、イラク大統領による“飛行機撃墜”声明が宣言された時、テヘランに取り残された215名の日本人の救出をトルコが危機を承知で担ってくれました。日本人には“なぜトルコが?”と、不思議でしたが、トルコ人は「エルトゥールル号の恩返しです」と異口同音に一つだったそうです。

紀伊半島の片隅で発揮された日本人の真心が、恩となりトルコの多くの人々の胸に刻まれ、そして、世代を超え、95年という年月を経て、「報恩」となって返ってきた訳です。

- ★ 「借りた傘、雨が上がれば邪魔になり」 … (忘恩人)
- ☆ 「かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻め」 … (報恩人)